

2月15日(月) 遊友ネットワーク 交流会がありました

第3回目の交流は、川上西部保育所と八本松中央幼稚園の園児を招いて八本松小学校の体育館で行いました。交流を重ねていくことで、来年度の1年生と6年生の仲が深まりました。

はじめの会

園児のみなさんも、5年生と一緒にきちんと並んでくれていました。小学校生活が楽しみですね。



ゲームコーナー

5年生が準備したゲームを園児のみなさんに体験してもらいました。微笑ましい場面が数多く見られました。楽しんでいただけただけでしょうか？



歌のプレゼント

5年生が練習を続けてきた「野空海」「歌のはじまり」を園児のみなさんに聞いてもらいました。また、「世界中の子どもたちが」を一緒に歌うことができました。4月になったら、また一緒に歌いましょうね。



5年生児童の感想

今日の遊友ネットワークまで、「ドキドキと不安」という気持ちがありました。そのような事を考えているうちに今日がやってきました。自己紹介の時は、会話がはずまず、ますます不安になってきました。ゲームの時はちょっとずつ笑顔が見えて「ほっ」と安心しました。そうしているうちに、「これ楽しい。」とも言ってくれました。

園児たちが一年生に入ってくるのが楽しみになりました。これも一つの宝物です。

今日の遊友ネットワークで、大変だった点が一つ、うれしかった点が三つあります。

大変だった点は、早く行きたい子が行ってしまって少し大変でした。うれしかった点の一つ目は歌です。練習した成果が出てよかったです。二つ目はゲームです。ブラックボックスなどを使って園児の喜び顔が見られたことです。三つ目は一人の女の子が、「心がいやされた。」と言ってくれたから、その言葉を聞いただけで、わたしがいやされました。

遊・友ネットワークの第3回目を行いました。やってみてこれは大変だと思いました。理由は、たくさんのゲームコーナーがあって、保育園の子たちは、やりたいと思ったことがバラバラで連れて行くのに時間がかかったからです。

一応全部のコーナーを回り終わったけど全部きちんとゲームができた子とできなかった子がいたので、次はそこを工夫したいと思いました。そういうところが私はまだまだだなと思いました。

遊・友第3回目は、やっぱり大変でした。全然ぼくたちの話を聞いてくれないし、急に走りだしたのですごく大変でした。

もし次回、年下の子たちをお世話するときは、何をしたいのか、何をしたいのかしつかり考えたいです。

遊・友では、様々なことを学んだので、それを他のことにも活用したいです。

わたしは、今日の交流会で思ったことが二つあります。

一つ目は、すごく園児が笑顔でゲームに参加してくれたことです。全ての遊びで、だれかが、「めっちゃ楽しい。」と言っているのが聞こえ、うれしくなりました。二つ目は、小さい子と付き合うのがすごく難しいなと思いました。だから六年生になるのが心配です。

最後の交流で、素敵な笑顔が見られてよかったです。六年生になって、一年生をあたたかく迎えたいです。

わたしは、第三回の遊友ネットワークを終えて、幼稚園や保育所の人たちに支えてもらったと思いました。

例えば、ルール説明をしている時、画用紙をじっと見てよく聞いてくれたし、たくさんの失敗をしても、笑ってごまかしてくれたりもしました。でも、本当はわたしたちが幼稚園や保育所の人たちを支えていかなければならなかったのです。

これからわたしたちが六年生になったら、次はわたしが新一年生を支える立場になりたいです。

わたしは、今日の遊友ネットワークが大成功だと思いました。理由は、今まですごく苦労したりして大変だったけど、幼稚園や保育所の子たちのほとんどが笑顔で楽しんでくれたからです。

それに、実行委員としての役目も果たせたと思うのでよかったです。

次の六年生を送る会では、八本松小学校全員が笑顔で楽しんでくれたらいいなと思いました。

今日の三時間目には、園児全員の笑顔を見ることができました。

ぼくの班は魚釣りで、その説明を園児は一生懸命聞き取ってくれました。魚の合計点を足した時は、嬉しそうにしてくれました。笑顔の多い五分間の遊びでした。

最後は一人泣いていましたが、自分たちのように大きな人とふれあうのに緊張したのかなと思いました。